

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
住田町	住田町	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B /目標A
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	家庭系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
合 計 事業系家庭系総排出量合計		t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	t	t	t	%
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成21年度)	目 標 (平成27年度) A	実 績 (平成27年度) B	実績B /目標A
総人口					—
公共下水道	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率	%	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1, 150	1, 261	1, 181	93. 7%
	汚水衛生処理率	18. 0%	21. 4%	20. 2%	94. 4%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	3, 266	2, 731	2, 757	101. 0%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

経済情勢が悪化した事により、新築・改築する町民や排水設備を改造する町民が減少したほか、人口の減少に伴い高齢者の一人暮らしが増加し、排水設備の改造を積極的に行わなくなった事等が要因と考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成32年度まで

汚水衛生処理人口の実績は1,181人、汚水衛生処理率の実績は20.2%と目標値を達成することはできなかったが、汚水衛生処理人口及び汚水衛生処理率ともに、計画当時に比して着実に向上している。

今後も浄化槽整備区域に対して、各戸訪問、広報誌及びホームページ等による周知を強化し、公共用水域の水質悪化に歯止めをかけるため、浄化槽整備事業を進め、汚水衛生未処理人口の更なる減少を図る。

(都道府県知事の所見)

合併処理浄化槽等の普及実績については、人口減少や経済情勢の悪化等により平成27年度目標値を若干ながら下回ったものの、汚水処理人口普及率は着実に増加している。よって、本計画による施策が浄化槽の普及促進に寄与したことが認められる。

住田町では既に新規地域計画（平成28年度～平成32年度）を策定したところであり、今後も引き続き循環型社会形成推進交付金を活用しながら、浄化槽の更なる普及促進に努められたい。

県においても、その手法等について必要に応じて支援していくこととしたい。